

東大阪病院

社会医療法人有隣会

これまでも、
これからも、
地域とともに。



アクセス

- 大阪メトロ長堀鶴見緑地線・大阪メトロ今里筋線「蒲生四丁目駅」
⑦番出口すぐ(徒歩0分)
- 京阪本線「野江駅」から徒歩10分
- JRおおさか東線「JR野江駅」から徒歩13分
- JRおおさか東線「JR鳴野駅」・大阪メトロ今里筋線「鳴野駅」から徒歩15分
- JR大阪環状線・JR東西線・京阪本線・大阪メトロ長堀鶴見緑地線「京橋駅」
から徒歩17分

社会医療法人有隣会

東大阪病院

〒536-0005大阪府大阪市城東区中央三丁目4番32号

☎ 06-6939-1121 ☎ 06-6939-1191

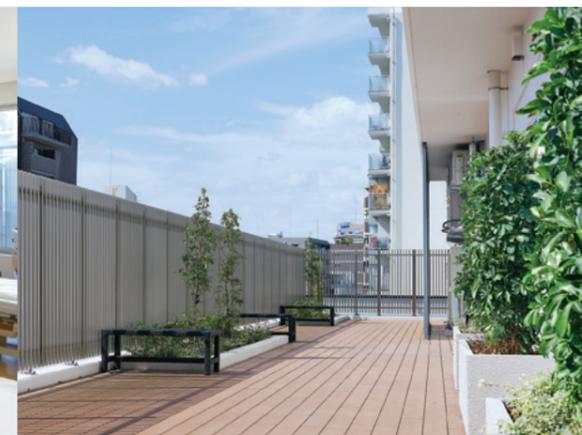


ホームページ



広域マップ





地域社会との共存・共栄

地域住民の健康を支援することで地域社会に貢献すること

当院は昭和26年に故・田中 治 会長により大阪市城東区蒲生に病床数20床で開設されました。当院は地域住民の健康を支援することで地域社会に貢献することを理念とし、長年地域医療を支えてきました。

創立者の想い

創立者 田中治は開業医の父親の影響で医師を志すようになりました。大阪大学医学部を卒業し医師となり、昭和26年4月に病床数20床の「東大阪病院」を城東区に開院しました。田中治は「人間好き、世話好き、勉強好きで、教育に熱心、そして自分に厳しい人」と評判の人でした。その後、「より地域に貢献し、親しまれ信頼される病院を建てたい」との思いから、昭和44年4月に城東区中央に病床数133床の病院を建設しました。法人名の「有隣会」は、開院当時に田中治が論語の「徳は孤ならず、必ず隣有り(意味は、徳のある人は孤立せず、必ず理解協力してくれる仲間ができる)」から命名したものです。田中治は素晴らしい仲間を支えられました。その仲間は今も城東区や他の地域で地域医療に貢献しています。

東大阪病院は、それから約54年を経て、2023年10月に新病院を開院しました。新病院でも創立者 田中治の想いを引き継ぎ地域に貢献し、親しまれ信頼される病院を目指してまいります。

創立者 田中 治



病院長挨拶

東大阪病院の職員は「地域社会との共存・共栄～地域住民の健康を支援することで地域社会に貢献すること～」という当院理念を非常に大切に思っています。私たちは今日までその理念に少しでも近づけるように努力してきました。地域の医療機関や介護施設と緊密に連携を図り、患者さんに切れ目のない良質な医療・介護を提供してきたと自負しております。

新病院では新たに「救急医療のさらなる充実」「整形外科の手術症例への積極的な対応」「透析医療の充実」「感染症対策の強化」を進めていきたいと考えております。

地域に根差した病院として、地域の皆さま、地域の医療機関や介護施設から信頼され、求められる病院となるように、職員一丸となって努力してまいります。皆さま方には引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

社会医療法人有隣会 東大阪病院 院長 北野 均



社会貢献

当院には理念を実践するための柱が2本あります。

1本目は「救急患者さんの受け入れ」です(詳しくは次頁に記載)。そして2本目が「地域住民の健康支援」です。当院では、地域住民の皆さまの「こころ」と「からだ」の健康づくりを使命とし、様々な活動を企画・実施しています。それらの活動を通して目指しているのは、どんな時でもあたたかく受け入れる「地域の保健室」になることです。

活動例

- 出張ボランティア講座の開催 (マンションや銭湯での健康講座の開催)
- 学校行事への協力 (防災訓練や修学旅行など)
- 各種イベントへの救護班派遣
- 中学生や高校生を対象とした職業体験
- 地域への感染対策活動 など



- [管理者] 院長 北野均
- [所在地] 〒536-0005 大阪府大阪市城東区 中央三丁目4番32号
- [病床種別] ・一般病棟 112床
・障がい者施設等病棟 60床
・回復期リハビリテーション病棟 60床
・緩和ケア病棟 23床
- [標榜科数] 17科
- [関連施設] ・東大阪病院附属クリニック (在宅リハビリテーション課)
・訪問看護ステーションゆうりん
・アイユウ東大阪病院・居宅介護支援事業所

救急科

地域から信頼される
頼りにされ、断らない救急



24時間365日、3,000件以上の救急受け入れ

当院の救急部門は内科と整形外科の救急受け入れを24時間365日行っています。救急搬送受け入れ数は、2019年から、コロナ禍の2020～2022年も含めて4年連続で3,000件以上を実現しています。さらに充実した救急医療を提供する為に、2023年4月から常勤救急専門医を迎え入れ、救急科を開設しました。新病院設立の際には救急車両専用スペースを増設、初療対応ベッドも拡充し、感染症などへの対応強化のために陰圧救急室を設置しました。



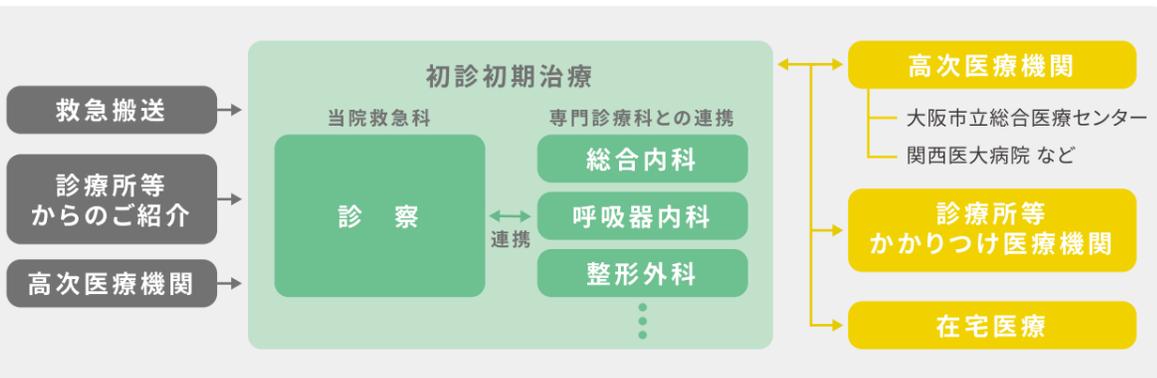
地域医療の入り口 診断をつけ、専門医へもつなげる

救急科では地域の診療所やクリニックの先生方と連携し、通院または在宅療養にかかられている患者さんの緊急時受け入れにも力を入れています。初期診療を行い、当院の他の専門診療科医師と連携を図りながら治療を行っています。重症で当院での対応が困難である場合やより専門的な治療が必要な場合は高次医療機関への転院調整をし、患者さんが適切な治療を受けられるよう対応します。

在宅医療のバックアップ機関として、患者さんが在宅から急性期、そして適切な治療を受けてまた在宅へスムーズに復帰していただけるよう地域の先生方と積極的に連携を図りたいと考えています。受け入れ経路に関わらず、スタッフ一同、地域の皆さまから信頼していただける救急医療を提供していきます。



救急科
前島 健志



整形外科

『救急外傷』と
『変形性関節症などの慢性疾患』を
24時間365日対応



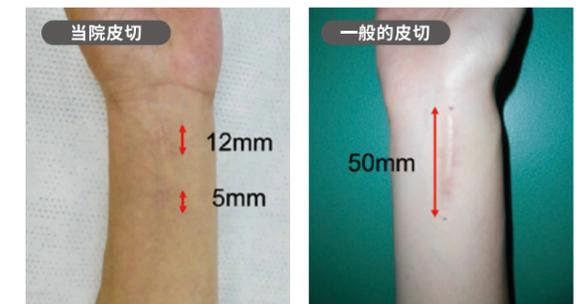
体への負担が少ない、高いレベルの低侵襲手術

骨折の手術について

骨折の手術は、骨折した部位を元の位置に戻す「整復」と、骨折が再びずれないようにする「固定」を同時に行う必要があります。一般的な切開では整復と固定が容易になりますが、その結果、傷口も大きくなり、術後の痛みなどの不安も増します。当院では、高度な技術が必要となる低侵襲手術を行っています。これにより、傷口を小さく保ちながらも、効率的かつクオリティの高い手術を迅速に行うことができます。今後も、患者さんにとって負担の少ない治療を追求し続けていきます。

橈骨骨折の手術の場合

	当院の手術	一般的な手術
傷	2cm程度	5cm程度
手術時間	より短い	通常的时间
出血の量	より少ない	通常量
感染リスク	より低い	通常のリスク
術後の痛み	より少ない	通常痛み
リハビリの介入	より進めやすい	難しい場合もあり



変形性関節症（股関節、膝関節）に対する手術について

大学病院で様々な手術実績のある専門医を招いて、膝関節・股関節専門外来を開設しています。人工膝関節置換術や人工股関節置換術にも積極的に取り組んでいます。痛みでお困りの方は一度ご相談ください。

年間約500件の手術実績

整形外科では、年間平均500件の手術を行っています。当院では、腎不全、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病、人工透析を受けている方々に対しても、当院内の専門医と協力して手術を行っています。また、高齢者や基礎疾患をお持ちの患者さんに関しても、内科医と連携し、手術後の早期リハビリテーションを実現しています。

24時間365日、 常駐の整形外科医師による救急対応

当院では、転倒、打撲、骨折、交通事故や労災事故による外傷、スポーツなどでのケガ、救急外傷に対しては24時間365日、当院に常駐している整形外科医師が迅速に対応します。

リハビリテーション

診療科・職種が連携、一人ひとりに寄り添い、
共に歩む多彩なリハビリテーション



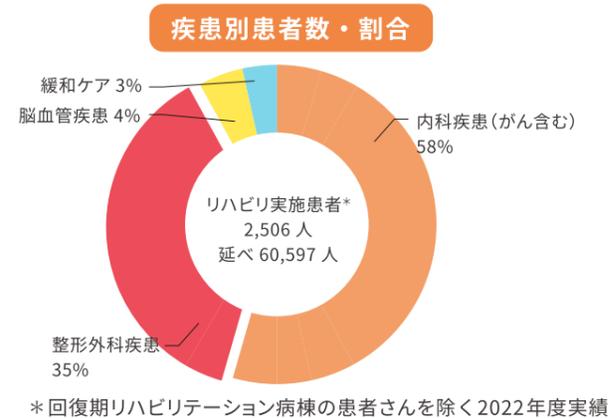
急性期リハビリテーション

早期から「効果を実感できる」リハビリテーションを提供します

- 短い在院日数で、機能改善と生活動作獲得をサポート
- 必要性に合わせた 365 日の訓練提供体制
- 療法士が栄養・呼吸・褥瘡などの専門医療チームに所属し効果的なリハビリテーションを提供
- 嚥下内視鏡検査 (VE)、嚥下造影検査 (VF) にも対応

< 主な対象患者 >

- ・ 外傷・圧迫骨折等の整形外科疾患患者
- ・ 心不全・脱水症・誤嚥性肺炎等の内科疾患患者
- ・ 様々なステージのがん患者
- ・ リハビリテーションが必要な透析患者



*回復期リハビリテーション病棟の患者さんを除く2022年度実績

一人ひとりに合わせた「安心できる生活」に繋がります！

退院後の生活を想定した各種訓練や指導の実施

家庭や施設等、個々の状態に合わせた退院を目指します。具体的な生活場面での目標を早期から設定し、練習や指導を行っていきます。

必要に応じて介助指導・嚥下指導や家屋訪問にも対応

ご家族にとっても安心して過ごせる生活となるよう、リハビリ場面の見学や起居動作・移乗・食事介助など介助指導も行っています。

必要性に応じた訪問リハビリ等のサービス提案

退院後のリハビリテーションは、医学的管理の必要性等を考慮し、外来リハビリや介護保険でのリハビリサービスの提案を行っています。

緩和ケア病棟でも、個別リハビリを提供

緩和ケアが主となる患者さんへも、痛みや苦しみを和らげ、心穏やかに過ごしていただけるように担当制で支援しています。



回復期リハビリテーション

患者さん自身が「リハビリをしている」と実感できるような
仕組みをつくっています

最も高い病棟基準となる
「回復期リハビリテーション
病棟入院料 1 の施設基準」
を取得

リハビリテーションの
効果を測定する指標
「実績指数」が 55.4
(全国中央値 45.2)

リハビリテーションを行う時間は
1日最大9単位=3時間
(1単位=20分)まで

患者さんの希望を元に
目標を立て、
評価・治療を実施

試験外出、外泊や家屋訪問
自宅内、周辺で安全に
生活ができるかを確認

脳卒中の方への
コミュニケーション面への
リハビリテーション

希望をカタチに！評価しながら治療を実施

入院初日から退院まで途切れないリハビリ

患者さんの希望に沿って、目標を立て、退院に向けリハビリを行い、サポートしていきます。

退院後速やかに生活に反映させる仕組みづくり

独自の『自立度シール』と『日常生活介助方法シート』を使い患者さんがどのような状態にあるかを正確に把握し、どなたでも適切な介助ができる仕組みづくりを行います。

安全で美味しい食事の取り組み

食事を安全に取れるように栄養課と連携し、適切な評価と治療を行っています。一人ずつに合った食形態の提供はもちろん、美味しさにもこだわっています。

急な体調不良にも迅速に対応

当院は、急性期病棟が併設されており、MRIやCT検査も迅速に対応します。



ウェルウォーク (WW-2000)

充実の設備で、患者さんの
未来をサポート

- 最新の設備を整え、低下した機能の回復を目指しています。
1. ウェルウォーク (WW-2000)
 2. 電気治療機器 IVES (アイビス)
 3. 運動器エコー
 4. 嚥下障害治療 Vital Stim (バイタルスティム)



透析科

透析導入から
維持透析まで



緩和ケア 内科

その人らしく穏やかに
過ごしていただけるように



東大阪病院では入院透析、東大阪病院附属クリニックでは
外来維持透析を提供しています

各専門医との連携

入院透析科では、院内の各科専門医の協力のもと内科疾患はもちろん整形外科の手術など、患者さんの症状に合った幅広い治療に対応することが可能です。



患者さんにとって、より良い透析生活が送れますように

当院ではオンラインHDF用の装置を15台保有しております。オンラインHDFは多くの老廃物の除去が可能で透析合併症の発生を抑えたとされています。透析用のベッド数は14床、感染症拡大防止を目的とした個室1床の計15床です。広く明るい治療室にゆったりとしたベッド間隔を取り、快適な療養環境の提供に努めております。

また、飛沫感染対策のために透明ビニールカーテンを設置したブースや個室をご用意しています。



外来透析 は東大阪病院附属クリニックで行っています

東大阪病院附属クリニック

大阪市城東区中央1丁目11番1号
Tel 06-6930-1201

<外来透析>

月・水・金 2クール（退出時間 20:30まで）
火・木・土 1クール（退出時間 16:00まで）
送迎サービスをしていますので、ご相談ください



心と時間を大切に
患者さんご家族を支える場所であるよう努めます

緩和ケア病棟とは

緩和ケア病棟はがんに伴う体や心などのさまざまなつらさを和らげる病棟です。当院では、患者さんやご家族が抱く痛みやつらさを緩和することで、その人らしく穏やかに過ごしていただけるよう心を込めてケアを行っています。

緩和ケア病棟は23床の全室個室です。

お申込み後の面談時に患者さんやご家族の意向を伺い、入院時期や緩和ケア病棟での過ごし方を一緒に考えます。入院後に体調が落ち着き、在宅や施設などへの希望があれば、かかりつけ医や地域のサービス事業所と連携を図り、退院支援をしています。退院後に体調悪化がありましたら、スムーズな入院対応ができるよう体制を整えています。

病室



全室個室（無料12床・ユニットシャワー付有料11床）

デイルーム・キッチン



たくさんの光が入るデイルーム併設のキッチンあり

家族控室



付き添いのご家族用の控室
布団の貸し出しあり（有料）

お食事



お好みに合わせて量を調整します

面談室



事前面談や患者さんの症状やお気持ちを伺うお部屋として使用

特別浴室



特別浴室は、寝たままでも入浴できるストレッチャー式シャワー

消化器内科



消化器内科では上部消化管（食道、胃、十二指腸）、下部消化管（大腸）、肝臓、胆のう、胆管、膵臓など消化にかかわる臓器の診断や治療を行っています。様々な消化器症状に対し診察、胃カメラ、大腸カメラ、CT、MRI、超音波検査などで原因を調べ適切な診断治療を行います。

電子内視鏡システム

内視鏡は最新の電子内視鏡システムを備えており、胃炎やピロリ菌、胃潰瘍、潰瘍性大腸炎等の診断、日本人に多い胃がんや近年増加傾向の大腸がん等の早期発見や内視鏡による治療にも取り組んでいます。また健診や人間ドックの二次検査としての精密検査も行っています。今まで検査を受けてつらかった方や不安のある方には鎮静剤を使用し、検査を行うことも可能です。



当院は、『日本消化器内視鏡学会指導施設』『日本消化器病学会関連施設』に認定されています。消化器系病床の病床数、内視鏡検査の件数や質、設備、スタッフ数、指導体制等が審査されます。より多くの方々に精度が高く安全・安楽な内視鏡検査を実施できるよう、今後も一層努力します。

呼吸器腫瘍内科



呼吸器疾患の専門医が、各種呼吸器疾患から肺がんまで対応

呼吸器腫瘍内科では、良性・悪性に関わらず呼吸器疾患の幅広い診療を行っています。外来診療では、呼吸器系悪性腫瘍（肺がん、縦隔腫瘍など）を中心に多くの疾患に対応しています。

<主となる対応疾患>

- 閉塞性肺疾患（気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患など）
- 気道疾患（気管支炎、気管支拡張症など）
- 呼吸器感染症（非結核性抗酸菌症など）
- 間質性肺炎
- 肺結核後遺症
- 肺がん（化学療法を含む）

<特長>

- がん患者さんに対し、化学療法などの専門的な治療を行います。
- 外来通院が難しくなった場合、当院の附属クリニックと連携し在宅への診療や緩和治療に対応しています。

診療科一覧 診療科の垣根を越えて連携を図っています

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| ● 総合内科 | ● 腎臓内科（透析） | ● 脳神経外科 |
| ● 緩和ケア内科 | ● 救急科 | ● リハビリテーション科 |
| ● 呼吸器腫瘍内科 | ● 一般・消化器外科 | ● 皮膚科 |
| ● 循環器内科 | ● 肛門外科 | ● 放射線科 |
| ● 消化器内科 | ● 整形外科 | ● 麻酔科 |
| ● 内分泌・糖尿病内科 | ● リウマチ科 | |

検査について

「正確な診断」と同時に「身体への負担を少なくする」低侵襲な医療機器

全身のあらゆる部位を正確かつ迅速に検査し診断できるMRIとCT装置。

- | | |
|-----------|----------|
| ● MRI 検査 | ● CT 検査 |
| ● エックス線検査 | ● 超音波検査 |
| ● 心電図検査 | ● 骨塩定量検査 |
| ● ABI 検査 | ● 胃カメラ |
| ● 大腸カメラ | |



MRI
Canon 社製 Vantage Gracian(1.5T)



CT
SIEMENS 社製 SOMATON go.Top(64 列)

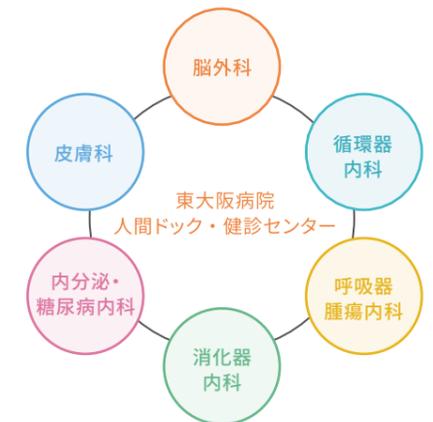
人間ドック・健診センター

地域の皆さまの健康づくりのため 人間ドック や 健康診断 を行っています

病院の中にある人間ドック・健診部門として、各専門医をはじめ各職種のスタッフが皆さまの健康づくりのお手伝いをします。当院はオリジナルの人間ドック、国民健康保険人間ドック、大阪市の健康診断、会社の健康診断や証明書の健康診断など幅広く対応しています。何よりも健康はご自分やご家族にとって一番大切な財産です。人間ドック、健診のことでしたら、お気軽に何でもご相談ください。皆さまとお会いできることを職員一同お待ちしております。

<当院で行える人間ドック・健診メニュー>

- 当院オリジナルの人間ドック
（例）基本ドック
内容：基本検査＋血液検査＋腹部エコー＋胃カメラ/胃透視
- 国民健康保険人間ドック
- 企業の定期健康診断・特定健康診断
- 大阪市がん検診 ● 雇用時健康診断
- 証明書の健康診断 など



東大阪病院 人間ドック

06-6939-1213

(9時～17時 日・祝日 除く)



はじめて人間ドックを受ける場合、どのような検査を受けたらよいか迷う方も多いと思います。病気の疾患リスクは年代や生活習慣で変化しますので、まずは私たちにご相談ください。